

# さえき社労士事務所だより

## 今年の新入社員は「ETC型」

### ◆「効率重視」で「コミュニケーション苦手」

日本生産性本部の「職業のあり方研究会」が毎年決定している新入社員のタイプについて、平成22年度は「ETC型」と発表されました。

効率化を重視する一方で、人とのコミュニケーションが苦手な面があることから、高速道路の料金所での対話がなくなった「ETC」システムになぞらえたようです。

### ◆上手に人材を育成するには

同研究会によると、厳しい就職戦線をくぐり抜けてきた今年の新入社員は、携帯電話などのIT活用に長け、情報交換についても積極的と言われており、時間の使い方も効率的で物事をスムーズに進める特徴があるそうです。また、CO2排出量削減など環境問題への関心も高い傾向があります。

しかし、効率性を重視するあまり、人との直接的なコミュニケーションが不足する面もあり、打ち解けて心を開くまで時間が掛かるため、性急に関係を築こうとすると、心を閉ざしてしまう「心のバー」が開かないといった特徴を持ち、上司や先輩は「スピードの出し過ぎ（結論を急ぐ）」に注意との見方もあるようです。

ただし、コミュニケーションが上手くとれば、仕事のスマートさやIT活用の器用さなどの良さもあり、会話をしながら上手に育てることが重要になるようです。

新入社員が入るときは、入社時研修を実施し、経営者の思い、社員として期待すること、してはならないことなど経営トップの思いを伝えることが必要のようです。

労働条件通知書といった書式を活用されることをお勧めします。



## アルバイトの時給が上昇傾向にある原因

### ◆3カ月連続で前年同月比が増

2010年2月におけるアルバイトの全国平均の時給は989円（前年同月比2.1%増）で、3カ月連続で前年同月比が増加しています。不況で正社員の給料が下がりつつある中、なぜアルバイトの時給は上がっているのでしょうか？

一般的に、景気回復の局面においては、「正社員の賃金よりも先にパートやアルバイトの時給が上がる傾向がある」と言われています。景気回復の初期には、企業は景気の先行きに自信が持てないため、正社員の賃金を上げたり採用を増やしたりするまでには至らず、まずは時給を上げてパート・アルバイトの採用を増やそうとするためだそうです。

また時給アップの1つの要因に労働者派遣法の改正が挙げられており、派遣社員を活用していた多くの企業で改正を前に派遣社員ではなくアルバイトなどの採用を優先する動きが出てきて人材確保のために時給を上げるといったことが要因となっているようです。